



住民がつくる長瀬の観光スポット「桜の園」

地域団体との協働 みどりと川の再生



NPO
法人

長瀬町
桜と松等を守る会
(秩父郡長瀬町)

地域
団体

一般社団法人
長瀬町観光協会
(秩父郡長瀬町)

1990年に長瀬町は、財団法人日本さくらの会から『さくら名所100選』に選定された。
その後、桜の保全に取り組むNPO法人と観光協会は、さらに新たな桜の名所として、宝登山麓に約10ヘクタールの「桜の園」を作った。

協働のきっかけ

1998年頃から、樹木医が中心となって地元のボランティアが長瀬の桜の手当てを始めた。
任意団体として活動していた2003年に、桜の保全と一緒に取り組んできた町の観光協会から、新たな桜の名所「桜の園」づくりを提案された。
活動をより発展させるために、2006年に任意団体からNPO法人になり、「桜の園」の管理を行っている。

キーワード 観光振興

協働のメリット

NPO
法人

「桜の園」の管理に必要な苗木や消耗品の一部を観光協会に負担してもらっている。
観光協会に、作業に協力してもらっている。
また、観光協会のおかげで地域住民の理解が深まり、応援してくれるためやりがいを感じている。



宝登山神社参道

地域
団体

植物の生長は天候に左右されるので、地元のNPO法人がこまめに対応してくれ、ありがたい。

苦労・工夫したこと

NPO
法人

植樹したソメイヨシノは70~80年、ヤマザクラは100年の寿命。息の長い活動が必要。
また、今でも未植樹の土地が残っていたり、病気になってしまった木があったりするので、多くの参加者が必要。
植樹の参加者には苗木をプレゼントし、継続して活動に関わってもらえるよう工夫をしている。

地域
団体

出資してくれた人の名前を書いたプレートを植樹した桜に設置する「長瀬『わたしの桜』植樹プロジェクト」を実施。
多くの出資者を集めるために、ホームページなどを用いて町内外へのPRをしている。